

学校長通信

平成 26 年度 第 1 学期始業式 式辞

* 在校生の皆さん、はじめまして。これから皆さんと高校生活を一緒にさせていただきます新任校長の岸野です。初めて日根野高校に来た時は、「27年も経っているのになんて綺麗なキャンパスなんだ」と驚きました。皆さんはよその高校を何校くらい見たことがあるかわかりませんが、府内でもおそらく上位争いをする美しさだと思います。これは君たち生徒、そして先生方・技師さん全員が一日一日積み上げてきた努力の結果ですが、歴代の先輩や先生方が積み上げてきたものでもあります。私はその伝統に敬意を表したいと思います。そして、この日根野高校に来られて本当に良かったと思っています。

* 新3年生は、あっという間に最上級生、そして最終学年になりましたね。今年は進学や就職もあるので忙しいですよ。フレッシュな一年のスタート。やる気満々の気持ちあり、不安だらけの気持ちもあり、というところでしょうか、心配無用です。皆さんが思っている以上に、いろんな先生方が皆さん一人ひとりの進路のことを見てくれていますから、なんでも早めに相談して（ここがポイントです。先送りするほど気が重くなります。）納得のいく1年にしてください。ただし注意点をひとつ。途中で簡単に妥協しない。フィニッシュまで自分をあきらめない。これだけは忘れないでください。先生方は、皆さんが挑戦し続ける限り、それをサポートしてくれます。

* 新2年生は、今日から後輩ができますね。いい先輩になれそうですか。中学と高校がどれだけ違うかを一番近くで感じているのは君たち新2年生ですから、そのことを新入生のみんなに伝えてください。1年の時、ああしておけば良かったこうしておけば良かったと思っていることがあると思うので、そこを上手に教えてあげてください。また皆さん自身は、大事な中間走になります。中間走とは100m走の中の30～80mのことで、スタートとフィニッシュをつなぐ約6秒間の疾走区間です。ここをどう走り切るかがポイント。勝負の80m以降は3年生になってからですが、それまでにのんびりし過ぎてスパートしても届かない位置まで下がらないようにしましょう。

* 少し焦らせてしまうような話を続けましたが、うまく乗り切るための秘訣をお話しておきます。誰にでもできることです。私たちはいろんな希望をもって生きていますが、条件があったり相手がいたりして、そう簡単に思い通りにはできません。ならば無理して条件や相手のことを越えていこうとせず、いまの自分

にできることは何だろうと考えてみることです。何とかできそうなことを突き詰めると、多分、自分の生活パターンを見直すところに行き着くと思います。朝起きる時間、学校へ行く時間、授業時間、休み時間、放課後の時間、帰宅時間、就寝時間。今のままでいいか考えてみてください。そして自分でできる目一杯の生活の時間割をたてていくと、大切なこととそれを妨害している誘惑とが見えてきます。さあ、それは何でしょう。ここから先は各自で考えてみてください。

* 新しい自分の時間割ができたら、今度はそれを守らなくては意味ありません。これがまた難題です。「守れるくらいなら今までも苦労してない」という声が聞こえるようですね。でもこれも大丈夫、時間割を死守するいい方法があります。それは「身近にあるルールを守る」ということです。ルールは守らないと面白くないですよ。例えばサッカーしていて、一人だけルールを守らないやつがいたらどうですか。いっしょにサッカーしたいですか。それで得点決めてかつこいいと思いますか。それとドレスコードって聞いたことがあるでしょうか。服装のルールという意味なんですが、例えば結婚式に一人だけ短パン・Tシャツで行ったらどうでしょう。すごく失礼なやつと思われませんか。お葬式に真っ赤な服を着ていくとどう思われるでしょう。だからルールは守らないとだめなんです。ルールにもいろいろあって、大きいものから言えば、憲法、民法、刑法、商法から泉佐野市の条例までたくさんありますが、ここではそんな大きなルールではなくて、身近にあるルール。つまり学校のルールやクラブのルールや家でのルールなどのことです。守れていますか。遅刻はどうか、服装はどうか、ケータイはどうか、家のお手伝いはどうか、門限はどうか。まあ、だまされたと思って、これら全部をもう一度自分で書き出して完璧に守ってみてください。間違いなくあなたの新しい生活の時間割は実行され、あなたは自分でも驚くほど変わり始め、気がつけば希望や夢への入り口に立っているでしょう。勝てそうもなかった相手を抜き去っていたりするかもしれません。

* まとめです。まず、自分はやればできる子だと信じて、自分だけの生活の時間割を作る、身近にあるルールを全部書き出して、とにかく全部守る。それがきちんとできている生徒は大阪府内でも少ないと思いますので、これだけで皆さんの高校生活は中間走でもラストスパートでも無敵です。くじけそうになったら、自分だけでがんばらずに、先生に「くじけそうや」と相談してください。折れそうになったら、友達に打ち明けていっしょに泣いてみよう。皆さんがそんな高校生活を送ってくれば、私は最高に幸せです。がんばろう日根高生。